

前橋市ナシの産地ビジョン2026 ～5年後に向けて～

【1.産地の特徴】

- ・ 歴史と立地：前橋市大島地区は江戸時代後期からナシ栽培が始まった群馬県内でも屈指の伝統産地
- ・ 販売形態：直売を中心とし、地元イベントや宅配でも販売。
- ・ 環境負荷低減農業：ナシ園地が住宅地に混在する中で性フェロモン剤や生物農薬の活用による環境に優しい栽培を実践。

【2.産地の課題】

- ・ 担い手の高齢化・後継者不足
- ・ 園地の減少と樹の老朽化
- ・ 消費やニーズの変化
- ・ 作業労力の確保困難
(短期集中型労働)
- ・ 気象災害・鳥獣被害への対応

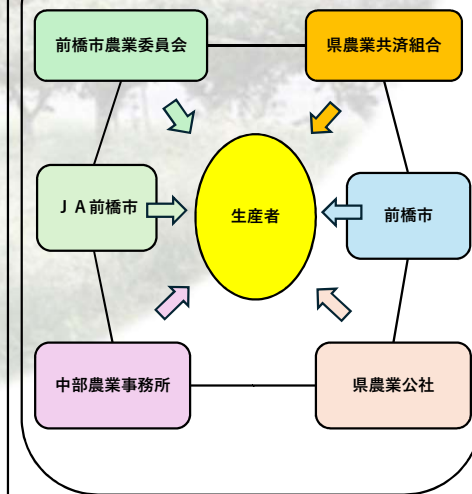
【3.課題解決への取り組み・目標】

- 人材・園地対策
 - ①担い手育成・確保
 - ・ 農家後継者、Uターン、新規就農者の受入と育成の体制づくり
 - ・ 認定農業者制度の活用や多様な担い手（企業参入）の確保
 - ・ 既存園地の継承
 - ②園地の効率化
 - ・ 日当たり良好・隣接した住宅の少ない園地を維持・継承
 - ・ ジョイント栽培を活用した省力化
 【目標】研修受入農家戸数 1～2戸
 【目標】経営継承面積 95a
- 生産技術対策
 - ①温暖化対策の徹底
 - ・ 生理障害（コルク症）
 - ・ 病害虫防除（ハダニ類、カメムシ類）
 - ②有望品種への転換
 - ・ 消費者人気の高い「あきづき」、「かおり」、「甘太」及び群馬県オリジナル品種「群馬N2号（仮称）」の作付拡大
 - ③新技術導入
 - ・ ジョイント栽培による労働生産性の向上
 - ・ 環境に配慮した（環境負荷低減）栽培技術の拡大
 【目標】群馬N2号（仮称）の導入農家数 50件以上
 【目標】ジョイント栽培面積 67a → 100a
- 流通・販売対策
 - ①地産地消の推進
 - ・ 地域イベント、収穫体験、観光直売強化
 - ②ブランド化と販路多様化
 - ・ ネット販売、宅配の拡充
 - ③消費者ニーズの高い品種の販売促進
 - ・ 「幸水」「あきづき」
 - ④加工品、カフェの展開
 - ・ 加工品の開発
 【目標】共進会への出品者 15名以上
- リスク対応・輸出
 - ①災害対策
 - ・ 防風網、多目的防災網の整備、病害虫防除、防護柵の整備
 - ②収入保険の加入促進
 - 【目標】収入保険加入 24件

【4.将来のナシ産地の目標】

- 1、地域に愛されるブランド直売産地の継承
 - ・ 栽培面積 23.2ha
- 2、産地を支える生き生きとした担い手の確保
 - ・ 担い手（経営体）51戸
- 3、持続可能で環境に優しい農業
 - ・ 天敵利用 43% → 50%以上
 - ・ 堆肥利用 37% → 50%以上

【5.産地の合意体制～施策の推進体制～】



前橋市果樹産地協議会 R8.6作成